

特別展「自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美」関連

# カナダ先住民の 自然と生命への思い



カナダ・クイーンシャーロット島 スキドゲート村の近く



北西海岸のトーテムポール



ホッキョクグマ(撮影提供: Bob Mesher)



「地球交響曲 ガイアシンフォニー 第三番」

2009年10月24日(土)

13:30~16:30(開場 13:00)

「トーテム グプスゴロックス・ポールの返還」

2009年11月14日(土)

13:30~15:30(開場 13:00)

「極北の怪異(極北のナヌーク)」

2009年12月6日(日)

13:30~15:30(開場 13:00)

イヌイト版画「誇らしい父親」  
国立民族学博物館所蔵

場 所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、常設展・特別展をご覧になる方は別途観覧料が必要です。)

定 員 450名(先着順、申込不要)

主 催 国立民族学博物館



# カナダ先住民の自然と生命への思い

今回のみんなく映画会では、カナダ先住民の生き様にかかわる2作品と、先住民のみならず人類全体の自然への思いや地球環境の大切さを訴えた1作品を取り上げます。地球環境の美しさと大切さをカナダやアラスカの先住民らとの関係から描き出した「地球交響曲 ガイアシンフォニー第三番」、トーテムポールの返還運動によって伝統文化や祖先とのつながりを再生しようとしたカナダ北西海岸先住民についての「トーテム グプスゴロックス・ポールの返還」、1920年代の自然の中で生きるカナダ・イヌイットの生活を描き出した「極北の怪異(極北のナヌーク)(原題 Nanook of the North)」を上映します。これらの映画の鑑賞を通して人と自然のかかわり方を考えてもらえれば幸いです。上映に際しては、それぞれのテーマに造詣が深い研究者や写真家の方をお招きし、解説していただきます。



湖氷上からの網漁 カナダ・ヌナヴィクのアクリビク村の近く

**開催日** 10月24日(土) 13:30 ~ 16:30(開場 13:00)  
**上映作品** 「地球交響曲 ガイアシンフォニー第三番」  
 (1997年/日本語/150分)  
 監修 稲盛和夫  
 プロデューサー 竹内美樹男  
 製作・配給会社 株式会社オンザロード

1996年8月8日にカムチャツカで亡くなった写真家・星野道夫と行くはずだった南東アラスカから極北地域への旅を縦糸にして、彼と親交が深かった人々を訪ねていきます。その旅と人々の出会いの中で、人間にとっての生と死の意味や、自然と文明の意味を問い続けるドキュメンタリー・フィルムです。

司会 岸上伸啓(国立民族学博物館・先端人類科学研究部教授)  
 解説 齋藤玲子(北海道立北方民族博物館・主任学芸員)

**開催日** 12月6日(日) 13:30 ~ 15:30(開場 13:00)  
**上映作品** 「極北の怪異(極北のナヌーク)」  
 Nanook of the North  
 (1922年/サイレント/78分/日本語字幕つき)  
 監督 ロバート・J・フラハティ  
 配給会社 アイ・ヴィ・シー

カナダの極北地域に暮らす先住民イヌイットの生活を追ったドキュメンタリー・フィルムです。1920年ごろの自然の中で生きるイヌイットの生活をていねいに描写しており、当時の様子を知ることができる貴重な映像資料です。また、この作品はもともと古い民族誌映画のひとつとして有名です。

司会 伊藤敦規(学術振興会特別研究員)  
 解説 岸上伸啓(国立民族学博物館・先端人類科学研究部教授)

**開催日** 11月14日(土) 13:30 ~ 15:30(開場 13:00)  
**上映作品** 「トーテム グプスゴロックス・ポールの返還」  
 Totem: The Return of the G'psglox Pole  
 (2003年/英語/70分)  
 監督 Gil Cardinal  
 製作・配給会社 カナダ映画庁(National Film Board of Canada)

1929年にカナダ北西海岸先住民のハイスラの人びとのトーテム・ポールが村から持ち去られました。この行方については60年以上もの間、不明でしたが、1991年にハイスラの人々はそれがストックホルムの博物館で展示されていることを知りました。この映画は、トーテム・ポールの返還に関するドキュメンタリーです。

司会 岸上伸啓(国立民族学博物館・先端人類科学研究部教授)  
 解説 赤阪友昭(写真家)

## 解説者紹介



**齋藤 玲子** (北海道立北方民族博物館・主任学芸員)  
 アイヌと北西海岸先住民をはじめとする北方の先住民文化について研究し、展示や出版物などで紹介してきた。勤務する博物館では、星野道夫氏の写真を展示したこともある。



**赤阪 友昭** (写真家)  
 1996年から先住民や遊牧民の文化や精神世界の取材を精力的に続けている。主な撮影地は、アラスカの北極圏や北米北西海岸及びモンゴル。



**岸上 伸啓** (国立民族学博物館・先端人類科学研究部教授)  
 カナダ・イヌイットやアラスカのイヌピアックの文化について調査を実施してきた。北方先住民の食物分配や社会変化に関心を持っている。

## 交通のご案内

### ●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分  
 (映画会のみ参加される方は、自然文化園を通行される場合は、入園料が必要となります。ただし、特別展・常設展をご覧になる方は、みんなくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)  
 「公園東口駅」下車徒歩約15分  
 (「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。)

### ●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行き)  
 阪急茨木市駅から約20分  
 JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)  
 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

### ●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

### ●自動車

駐車施設が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分  
 ※「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

**お問い合わせ先** 国立民族学博物館 広報企画室企画連携係  
 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
 TEL:06-6878-8210(平日9時~17時)  
<http://www.minpaku.ac.jp/>

**国立民族学博物館**

